



## 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月12日

上場会社名 ディップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2379

URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 管理本部長 (氏名) 鈴木 秀和 (TEL) 03(5114)1177

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第1四半期の業績 (平成24年3月1日～平成24年5月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	2,163	△16.0	△212	—	△210	—	△131	—
24年2月期第1四半期	2,577	23.3	34	△30.0	22	△28.5	9	41.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	△1,163.68	—
24年2月期第1四半期	80.89	80.86

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	5,884	3,279	55.7
24年2月期	6,968	3,611	51.8

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 3,279百万円 24年2月期 3,611百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	800.00	800.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

平成24年4月27日開催の取締役会において、平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割することを決議しております。そのため、平成25年2月期(予想)の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成25年2月期の業績予想 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	0.2	50	—	20	—	△5	—	△44.76
通期	11,600	1.5	1,000	24.5	950	24.5	420	10.9	37.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

平成24年4月27日開催の取締役会において、平成24年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割することを決議しております。そのため、平成25年2月期の業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております(当該株式分割が期首に行われたと仮定して算出)。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	123,620株	24年2月期	123,620株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	12,835株	24年2月期	9,431株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	113,006株	24年2月期1Q	114,189株

(注) 自己株式については、当四半期累計期間末に株式付与 ESOP 信託口が所有する 3,404 株を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(その他特記事項)

平成 24 年 4 月 27 日公表の「株式分割、単元株制度の採用、定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社は平成 24 年 9 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき、100 株の割合で株式分割を予定しております。これに伴い、平成 25 年 2 月期の業績予想における通期の 1 株当たり当期純利益は、株式分割後の株式数を前提に算出しております。

- ・ 株式分割前の当社発行済株式総数 123,620 株
- ・ 今回の分割により増加する株式数 12,238,380 株
- ・ 株式分割後の当社発行済株式総数 12,362,000 株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(3) 追加情報 .....	5
3. 四半期財務諸表 .....	6
(1) 四半期貸借対照表 .....	6
(2) 四半期損益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済情勢は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にありましたが、欧州の財政不安や円高の長期化の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

国内の雇用情勢につきましては、有効求人倍率(季節調整値)は、12ヶ月連続の改善を示し、完全失業率も改善傾向にある等、回復が続いております。

このような環境のなか、当第1四半期累計期間より主要サイトのバイトルドットコム、はたらこねっと等を運営する求人広告事業をメディアカンパニーへと集約し、ナースではたらこを運営する人材紹介事業をエージェントカンパニーへと再編することにより、それぞれの事業領域において意思決定を早め、さらなる成長戦略を打つとともに、媒体力及び事業の強化を図っております。

一方、バイトルドットコムにおける地方提携会社との契約形態を見直し、従来の総額方式の契約から手数料方式の契約へ変更するとともに、ナースではたらこにおきましても、利用規約の変更に伴い、業務運用の見直し等を行いました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は21億63百万円(前年同四半期比16.0%減)となりました。なお、上述の見直しに伴い売上高の減収影響が6億60百万円発生しております。従いまして、実質成長率は9.6%の伸びとなりました。

営業損益及び経常損益につきましては、営業力強化のための新卒社員の入社138名(前年度新卒入社67名)に伴い人件費が増加し、また、主要サイトにおける認知促進のための各種施策により広告宣伝費が増加いたしました。これらの人員投資、広告宣伝投資の実施及び売上高の減収影響を受けたことにより、営業損失は2億12百万円(前年同四半期は営業利益34百万円)、経常損失は2億10百万円(前年同四半期は経常利益22百万円)となりました。しかしながら、前述のバイトルドットコムにおける地方提携会社との契約形態見直しにより、前年同四半期と比較し、代理店手数料及び販売促進費につきましては大幅に低減しております。また、四半期純損失は1億31百万円(前年同四半期は四半期純利益9百万円)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

当社はこれまでセグメント区分を「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ナースではたらこ」「ジョブエンジン」「その他」としておりましたが、当第1四半期累計期間の組織変更に伴い、従来「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ジョブエンジン」「その他」としていた区分を「メディア事業」に統合し、「ナースではたらこ」を「エージェント事業」に変更しております。

前年同四半期比の金額及び比率については、前第1四半期累計期間のセグメント区分を当第1四半期累計期間において用いたセグメント区分に組替えて算出しております。

## ①メディア事業

メディア事業におきましては、戦略的エリア深耕のため、新たに新宿オフィス、難波営業所を開設し営業力の強化に努めてまいりました。

「バイトルドットコム」におきましては、初めてアルバイトを探す人にも履歴書が簡単に記入でき、面接の際に役立つ『バイトルの履歴書作成』アプリをリリースした他、「学生バイトル」「パートでバイトル」「短期バイトル」の3つの専門サイトをそれぞれリニューアルし、ユーザーの利便性向上に努めてまいりました。

また、全国の主要大学においてオリジナルキャラクターである『バイトルズ』のストラップを配布し、さらに大都市圏でのTVCFの放映等、プロモーションによるユーザー基盤の強化を図ってまいりました。

「はたらこねっと」におきましては、PC版検索結果に直接雇用(正社員、契約社員、パート・アルバイトなど)の仕事情報を初期表示することにより、ワンストップでの仕事探しを実現し、ユーザーの利便性向上に努めてまいりました。

「ジョブエンジン」におきましては、引き続き経営資源を他のサービスへ振り向けることに伴い、最小限のリソースで効率的に事業を運営してまいりました。その他、主にバイトルドットコムの飲食店顧客向けサービスを展開いたしました。

これにより、当セグメントにおける売上高は20億2百万円(前年同四半期比13.3%減)、セグメント利益は4億39百万円(前年同四半期比11.7%減)となりました。なお、前述の「バイトルドットコム」における地方提携会社との契約形態の見直しにより売上高の減収影響が3億67百万円発生しております。従いまして、実質成長率は2.6%の伸びとなりました。

各サイトの売上高は、次のとおりであります。

「バイトルドットコム」	16億56百万円
「はたらこねっと」	2億87百万円
「ジョブエンジン」	54百万円
「その他」	3百万円

## ②エージェント事業

エージェント事業が運営する「ナースではたらこ」におきましては、『ナースライフをハッピーに』をコンセプトに、「給与/人間関係/恋愛」などの診断が手軽にできるスマートフォンアプリ『ハピナス診断』の提供を開始し、転職支援以外にも看護師へ役立つ情報を提供し集客強化を図ってまいりました。また、平成23年12月に発表されたオリコン顧客満足度(CS)ランキングにて、医療系人材紹介部門No.1を獲得し、担当者の対応において高ポイントを獲得したことから、継続して質の高い転職相談を実施することによる求職者の満足度向上に努めてまいりました。

これにより、当セグメントにおける売上高は1億61百万円(前年同四半期比39.8%減)、セグメント損失は2億78百万円(前年同四半期はセグメント損失62百万円)となりました。なお、前述の業務運用の見直し等を行ったことによる売上高の減収影響が2億92百万円発生しております。従いまして、実質成長率は69.1%の伸びとなりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期累計期間末における資産は、前事業年度末と比較し10億83百万円減少し、58億84百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3億69百万円、売掛金の減少10億10百万円及び無形固定資産の増加1億20百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し7億50百万円減少し、26億5百万円となりました。主な要因は、買掛金の減少1億38百万円、未払法人税等の減少3億33百万円及び長期借入金の減少1億74百万円によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し3億32百万円減少し、32億79百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少2億22百万円及び自己株式の増加1億10百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年4月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

#### (売上高の一部について総額表示から純額表示への変更)

従来、地方提携会社との一部の取引にかかる収益及び費用は、総額で表示(売上高、売上原価、販売費及び一般管理費に計上)しておりましたが、契約内容を変更したことに伴い、純額での表示(従来の売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を差し引いた部分のみを売上高に計上)に変更いたしました。

この変更により、従来の会計処理方法によった場合に比べ、当第1四半期累計期間の売上高が367,612千円減少、売上総利益が249,035千円減少しておりますが、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失への影響はありません。

#### (ナースではたらこの売上計上基準の見直し)

ナースではたらこの人材紹介手数料につきましては、従来入職合意時に売上計上しておりましたが、医療機関に対する人材紹介サービスの事業拡大に伴い求められる業務内容が変化し、利用規約及び業務運用の見直しを行った結果、当事業年度より入職時に売上計上することといたしました。

上記の結果、売上高が292,540千円減少、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失が292,540千円増加しております。

#### (株式付与E S O P信託制度に関する会計処理方法)

当社は平成24年4月12日開催の取締役会において、当社従業員の労働意欲・経営参画意識の向上を促すとともに株式価値の向上を目指した経営を一層推進することにより、中長期的な企業価値を高めることを目的とした信託型の従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」制度を導入いたしました。

この導入に伴い平成24年5月31日までに、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(以下「信託口」という。)が当社株式3,404株を取得しております。

当該株式付与信託に関する会計処理については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしており、信託口が所有する当社株式や信託口の資産及び負債ならびに費用及び収益については四半期貸借対照表及び四半期損益計算書に含めて計上しております。このため、自己株式数については、信託口が所有する当社株式を自己株式数に含めて記載しております。

なお、平成24年5月31日現在において信託口が所有する自己株式数は3,404株であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,158,538	1,788,727
売掛金	2,094,599	1,084,309
仕掛品	2,580	1,691
その他	377,208	498,940
貸倒引当金	△109,969	△96,753
流動資産合計	4,522,958	3,276,915
固定資産		
有形固定資産	283,930	319,529
無形固定資産		
ソフトウェア	1,358,170	1,356,677
その他	167,993	289,859
無形固定資産合計	1,526,163	1,646,536
投資その他の資産		
その他	504,419	510,194
貸倒引当金	△27,878	△8,000
投資その他の資産合計	476,541	502,193
固定資産合計	2,286,635	2,468,260
繰延資産		
開発費	158,730	139,682
繰延資産合計	158,730	139,682
資産合計	6,968,323	5,884,858
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	199,667	60,817
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	523,800	523,800
未払法人税等	339,718	6,183
返金引当金	50,000	67,595
その他	758,829	630,364
流動負債合計	2,872,015	2,288,759
固定負債		
長期借入金	446,700	272,000
資産除去債務	36,927	39,865
その他	700	5,155
固定負債合計	484,327	317,021
負債合計	3,356,343	2,605,781



(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,081,200	1,081,200
資本剰余金	1,131,709	1,131,709
利益剰余金	1,771,199	1,548,345
自己株式	△372,128	△482,177
株主資本合計	3,611,980	3,279,077
純資産合計	3,611,980	3,279,077
負債純資産合計	6,968,323	5,884,858

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
売上高	2,577,629	2,163,956
売上原価	389,769	337,243
売上総利益	2,187,859	1,826,713
販売費及び一般管理費	2,153,582	2,039,387
営業利益又は営業損失(△)	34,277	△212,674
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	—	12,014
その他	2,961	2,218
営業外収益合計	2,961	14,233
営業外費用		
支払利息	5,996	4,600
シンジケートローン手数料	8,165	5,474
その他	175	1,656
営業外費用合計	14,337	11,731
経常利益又は経常損失(△)	22,902	△210,172
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	22,902	△210,172
法人税、住民税及び事業税	2,595	2,819
法人税等調整額	11,069	△81,489
法人税等合計	13,664	△78,670
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,237	△131,502

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	メディア事業	エージェント事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,309,004	268,624	2,577,629	—	2,577,629
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,309,004	268,624	2,577,629	—	2,577,629
セグメント利益 又は損失(△)	497,816	△62,337	435,479	△401,201	34,277

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△401,201千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	メディア事業	エージェント事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,002,373	161,583	2,163,956	—	2,163,956
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,002,373	161,583	2,163,956	—	2,163,956
セグメント利益 又は損失(△)	439,584	△278,344	161,240	△373,914	△212,674

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△373,914千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、これまでセグメント区分を「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ナースではたらこ」「ジョブエンジン」「その他」としておりましたが、当第1四半期累計期間の組織変更に伴い、従来「バイトルドットコム」「はたらこねっと」「ジョブエンジン」「その他」としていた区分を「メディア事業」に統合し、「ナースではたらこ」を「エージェント事業」に変更しております。これに伴い共通経費の配賦についても一部見直しております。

なお、前第1四半期累計期間に開示している金額は、変更後の区分方法により組替えたものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月12日開催の取締役会において従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」制度の導入を決議いたしました。当該信託に関する会計処理については、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っており、信託口が当第1四半期累計期間において取得した当社株式110,048千円を四半期貸借対照表の自己株式として計上しております。

なお、当第1四半期累計期間末における自己株式は482,177千円となっております。